



平成11年度 インターハイ出場 児玉高校柔道部一同

時の針

発行 児玉高校同窓会
 会長 松本一夫
 事務局 児玉町八幡山
 410
 県立児玉高校内

力必達

顧問

高柳和夫

同窓会の皆様、いつも母校を暖かく見守り、またご声援頂き、誠に有難うございます。お陰様をもちまして、児玉高校柔道部は、今年度、全国高校総体に出場することが出来ました。同窓会をはじめ、OB会、保護者会、学校職員、地域社会のご支援の賜物と、深く感謝いたしております。

昨年六月、我が柔道部は、高校総体埼玉県予選の決勝で、埼玉栄高校に四対〇と惨敗しました。原因を分析した結果、三つの問題点に気が付きました。

- ①監督である私の研究不足
- ②大事な試合になると選手が緊張して実力が発揮できないこと
- ③柔道が雑であること

の三点です。これらの課題を修正しなければ、いくら実力があっても試合には勝てないと反省させられました。そこで夏休みなど長期休暇を利用して、松本第一工業高校、小杉高校、前橋育英高校といった実力校との合同合宿はもちろん、実業団日本の新日鉄(兵庫)や横浜桐蔭大学などとも合同の合宿を実施しました。そのあい間にも、できるだけ多くの練習試合を消化してきました。

また、「自ら意欲的に取り組む姿勢が大切」なことを説き、生徒の自主性を重視した指導を心掛けるようにしました。これらの取り組みによっ

て、柔道はもちろん、体力、精神力ともに、十二分に強化できたと思います。この年十一月に行われた新人戦では、埼玉栄に三対〇で勝ち優勝を果たしました。しかしその内容は、紙一重の差でした。一月に行われた県選抜柔道大会には、顧問も選手も相当に自信をもって臨みました。結果的には四度目の全国選抜大会出場が決定しましたが、埼玉栄との実力は、五分五分でした。そのことを部員に認識させ、大会までの一日一日を大事に、集中して練習に打ちこみました。ところが、全国大会ではまさかの一回戦敗退。顧問も部員も大変ショックでした。

今年度に入り、五月に関東大会の県予選が行われました。団体戦三位で、通算二十四回目の関東大会出場を果たしました。個人戦では、岡本優勝、荒川二位、青木・熊木が三位と、上位を独占し、総体出場の手応えを感じました。それでも部員には、油断したり慢心したりしないように

油断したり慢心したりしないように

指導して臨んだ六月十一日の総体県予選個人戦。結果は、田島だけが優勝、他は決勝で埼玉栄の選手に敗れてしまいました。選手にはかなり波があることを再認識させられました。この点をよく注意して、一週間後の団体戦に備えました。練習を試合形式に変え、時間も一時間三〇分以内におさえて(持久力の面で心配もありましたが)、集中力の高揚に努めました。

万全の態勢で迎えた団体戦は、準々決勝(対越生) 四対〇、準決勝(対大宮工) 五対〇と順調に勝ち進み、決勝戦は宿敵埼玉栄との対戦になりました。先鋒、次鋒ともに引き分け、中堅の岡本が優勢勝ち、副将青木が一本勝ち、大将戦は有効を取られて僅差の優勢負け。結果は二対一で児玉の初優勝でした。その瞬間、頼もしく、素晴らしい部員一同に感謝の気持ちで一杯になり、「優勝おめでとう」と叫んでおりました。長嶋先生、浅岡先生の二人と握手しな

がら、嬉しさのために自然と涙が出てきました。思えば昨年夏休みの遠征に始まり、今年の春先には体調を崩しながらも監督が続けられたのは二人の先生のお陰です。

全国大会は一勝一敗に終わりました。しかし部員たちは、一生懸命に努力すれば必ず報われるという素晴らしい教訓を得ることができたはず。彼らはこの体験を生かして、将来、力強く生き抜く力を身につけていくことと思います。

今後とも、児玉高校並びに柔道部へのご支援をよろしく願います。

ごあいさつ

同窓会会長 松本 一夫



同窓生の皆様、お変わりなくお過ごしのこととご推察申し上げます。日頃

は会の活動にご協力賜わりまして誠にありがとうございます。

さて母校も体育コースを取り入れて四年、一面を飾りました柔道部は二年連続強豪埼玉栄高校を打ち破り県代表として全国大会へ出場、昨年十一月にはドラフト会議で野球部の新井君が阪神に第四位指名、全国各新聞に児玉高校の名前が報道され、益々活躍が楽しみになってきました。

さて同窓会活動ですが、恒例となつています新年会には来賓として田島県議員、学校当局、PTA、後援会の両会長を迎え、一月に百余名の皆様にご出席をいただきました。親睦旅行には来賓として学校当局を迎え三十余名の皆様にご出席をいただきました。昨年は横浜の三溪園から中華街、泉岳寺への旅をして出会いを楽しんできました。三溪園は郷土神川町渡瀬出身の原家で生来貿易商、美術愛好家の原富太郎(号三溪)氏による本牧に作られた広さ五万八

千坪の日本式庭園で明治二十年伊藤博文が命名した山荘「松風閣」を建てたのがスタート、以後聖武天皇が建てた京都燈明寺境内にあった重文旧燈明寺三重塔を移築、他に外苑に三、内苑に六と次々に重文に指定されていく建物を移築、明治三十九年に外苑を公開、昭和三十三年には内苑も公開、第二次世界大戦で大きな被害を受けたため、昭和二十八年原家から財団法人三溪園保勝会に移され、復旧工事がなされ、昭和三十三年に昔の姿をとりもどすことができました。関西や鎌倉から集められた歴史的建造物、石造物が横浜本牧の自然の起伏とマッチした絶景に感激しました。

同窓会各位のご健勝とご発展をご祈念申し上げます。



ごあいさつ

「啐啄同時」

福島 豊



同窓会々員の皆様、如何お過ごしでしょうか。

皆様の母校である児玉高等学校は、大正十一年に創立し、今年で七十八年目を迎えました。

この間の卒業生の総数は、今春で約一万九千有余人を越し、多くの皆様が全国各地で幅広く活躍しております。

また、皆様の子供や孫にあたる生徒達が現在も大勢この児玉高校で元気に学んでおります。

そして、皆様の母校に期待する熱い想いに応えて、平成十一年度は、柔道部の全国高等学校総合体育大会

(インターハイ) 初出場をはじめと

し、プロ野球選手の誕生ゴルフのジュニアの部で全国優勝等各クラブが着実に力をつけ、先輩達が残してくれた、本校の立派な伝統を、しっかりと引き継ぎ努力しております。

これらの成果も、同窓会館やトレーニング室等の施設をはじめ、日頃から皆様の物心両面にわたるご支援ご協力のおかげであると深く感謝しております。

先日、本校の旧職員岩田敏先生の叙勲祝賀会が本校第三回から十回までの卒業生の有志により企画され約百五十人の皆様が参加されました。

私もお招きをいただき、五十年前の卒業生が、恩師の受章を心から祝福をしている姿に接し、師弟の絆の強さに胸をうたれました。

当時の新任教師の情熱溢れる指導が五十年経過した今も、卒業生の心にしつかりと刻まれ、まさに「啐啄同時」の言葉どおりで、深く感動いたしました。

心の教育の大切さが強調されてい

る昨今、先輩教師や同窓会々員のすばらしい姿やご指導を大切に今後も児玉高校の発展のため努力していく所存でおります。

輝け！甲子園の星

広 報 山 崎

99・11・19・午後四時三分、一本の電話が入った。

「阪神タイガースです。只今、四位で指名致しました」この瞬間に、一人の若者の運命が決まった。若者の名は、新井亮二、母校から初のプロ野球選手である。小さい頃からプロ野球、甲子園に憧れたと言う。

夢がかなった今は、早くテレビに映って、活躍したいと言う。

目標は、ダイエーの城島捕手のような、リードが出来て、肩が強くて、打てる選手だと言う。

何と言っても、一八五センチ・九〇キロの均整のとれた恵まれた体格

は魅力であり目立つてであろう。楽しみである。誇りでもある。人気が増えると思いますが、怪我だけは気をつけて、

頑張れ！ 若虎、亮二
輝け！ 甲子園の星 亮二



校長先生 新井選手 芳野監督

修学旅行

見学先での思いで

高女4回

若草山でシカにお煎餅をあげながらグループでお菓子を食べました。



志田よし 倉林スエ 菊池昌子 片貝文代
島田あき 木村富喜 神岡さく



児玉高女四ッ葉会 昭和61年5月15日 於長瀬ラドンセンター

高女12回

五十鈴で手を濯ぎ、沢山の鯉が居りました。

平安神宮の玉砂利を踏み、内宮に詣でた時は自然と厳かな気分になりました。

雨の内宮では、梨乃本の宮様がお通りに終わるまで最敬礼させられて濡れてしまいました。

昭和12年



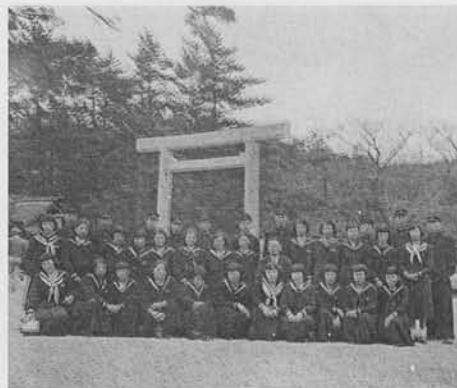
関西旅行 奈良

昭和28年



高校3回

法隆寺改修中にも拘わらず厨子を見学できたこと。異性と猿沢池畔での散歩。



高校7回

清水寺の舞台から下を見たこと。苔寺の庭園は何となく落ち着いた。





高校13回

三十三間堂の阿彌陀如来、不動明王などの仏像のすばらしさに圧倒されたこと。

高校17回



栗林公園



古都京都の古寺を悪友と一緒に見てまわった。古寺を見て古代建築のすばらしさに感動した。

高校23回

自由行動の二条城でその後長く文通を続け人生の師と云うべき、おばあちゃんに出会えたこと。

高校27回





高校36回



於 広島平和公園

高校48回

京都の夜、友達と部屋でのバカ騒ぎ。
 広島平和公園、平和の大切さを知った。

旅の思い出

あれこれ

高女4回

当時の授業料は参円五拾銭、校友会費が壹円五拾銭、修学旅行小遣いは五円でした。戦時色が強かったので、歌は軍歌であったと思います。

高女12回

二見ヶ浦に宿泊、昔話を信じるもなく早朝の天の岩戸なるものを見物、山育ちの女学生には宿の海のいろいろ珍しいものばかりでした。当時は、青い山脈が流行でした。

高校3回

「国家安泰の鐘三回打って五円也とアルバムにあります。」旅館でシャツを洗ってもらったこと。旅行後半にストームがあったこと。

高校7回

夜の自由時間に、映画を見に行ったこと。米を持参して行ったこと。食事が美味であったこと。

高校13回

符一
 はやっていた歌は、「恋の片道切符」

高校17回

京都の夜先生に、スナックに連れて行っていただき、制服を着ていたので断わられた。

撮った写真を兄2人で、現像したが、黒い点ができてしまった。最終日の休憩場所で意中の女性と副手下ねに

高校27回

アグネスチャンの「ひなげしの花」、渚ゆう子「京都の恋」など。

	目的地別	宿泊日数	交通手段	服装	おこづかい
高女4回 昭和9年卒	伊勢神宮	2泊3日	夜行列車	紺の制服	五円 ～拾円
高女12回 昭和17年卒	関西	3泊4日	夜行列車	セーラー服	五円 (学校で定め)
高校3回 昭和26年卒	京都・奈良	2泊3日	夜行列車	学生服 セーラー服	
高校7回 昭和30年卒	京都・奈良	2泊3日	夜行列車	学生服 セーラー服	3千円位
高校13回 昭和36年卒	京都・奈良 大阪	2泊3日	夜行列車	学生服 セーラー服	5千円
高校17回 昭和40年卒	京都・奈良 四国	3泊4日	新幹線	制服	1万円
高校23回 昭和46年卒	京都・奈良	3泊4日	新幹線	制服	1万円
高校27回 昭和50年卒	京都・奈良	3泊4日	新幹線	制服	
高校36回 昭和59年卒	京都・広島	3泊4日	新幹線	制服	3万円
高校48回 平成8年卒	京都・奈良 広島	4泊5日	新幹線 バス・船	制服	3万円

高校36回

普段は、先生を避けているほうだったんですが担任と話す機会があり、自分たちの事を(勉強以外のこと)よく考えているんだと感じたと。

高校48回

当時は、T B O L A N の「マリ」がはやっていた。

修学旅行特集第2弾のアンケートに協力頂いた方々

高女4回(昭和9年卒)

坂本 富喜

高女12回(昭和17年卒)

飯島(桜井)美智子、

松田(中林)すゝ江、

駒井 その子

高校3回(昭和26年卒)

吉川 幸男

高校7回(昭和30年卒)

藤田 宏重、

雉 丘 茂

高校13回(昭和36年卒)

卜部 義子

高校17回(昭和40年卒)

岡本 哲也

高校23回(昭和46年卒)

鈴木 伊佐男

高校27回(昭和50年卒)

田島 優子

高校36回(昭和59年卒)

渡邊 伸悟

高校48回(平成8年卒)

田中 孝和

敬称略

ご協力ありがとうございました。



児玉高校沿革

			世の中のできごと
大正11年	1922	埼玉県児玉実科女学校として認可される。	
12	1923		関東大震災
13	1924	第1回卒業式(卒業生51名)	
14	1925	埼玉県児玉高等女学校と改称。	
15	1926	第1回卒業式(卒業生42名)	昭和元年
昭和元年	1926	学校を現在地に移し、校舎を新築落成	
2	1927	服装がジャバラの白線のセーラーに変わる。	
5	1930	埼玉県立児玉高等女学校と改称。	世界恐慌
6	1931	第1回卒業式(卒業生22名)	
8	1933	弓道場落成式	皇太子御誕生
11	1936	第6回卒業式(卒業生93名)	二・二六事件
16	1941	第11回卒業式(卒業生94名)	太平洋戦争
20	1945	運動場トラック内開墾	終戦
21	1946	第16回卒業式(卒業生120名)	日本国憲法公布
23	1948	埼玉県立児玉高等学校(現行)と改称。	
24	1949	定時制普通科併置	
25	1950	第2回卒業生21名	朝鮮戦争
26	1951	第3回卒業式(男71名・女138名) 定時制第1回卒業式(男2名・女1名) 定時制家庭科第1回卒業式(女37名)	日米安保条約
27	1952	新校歌(現行)発表	
28	1953	陸上(走高)で国体県予選優勝。 国体に自転車競技出場。弁論部、全国大会へ	
30	1955	テニス部、東日本大会3位。	児玉町大火
33	1958	全日制第10回卒業式(男89名・女161名) 定時制第8回卒業式(男35名・女1名) 定時制別科第4回卒業式(女59名)	
36	1961	テニス部…学徒大会優勝(個人)。 バスケット・サッカー部関東大会出場。 化学部…学生科学賞最優秀作品(県知事賞)	
37	1962	創立40周年記念。体育館落成式。 定時制別科を廃止	
39	1964	生徒会室を新築落成	東京オリンピック
41	1966	全日制第18回卒業式(男子155名・女子263名) 定時制第16回卒業式(男子19名・女子3名) プール竣工、祝賀式	◎君といつまでも 星影のワルツ
42	1967	生徒定員、全日制1,200名・定時制200名	
44	1969	テニス部(男子)、関東大会新人個人優勝。 バスケット部(女子)…学徒大会優勝。 陸上(走高)・山岳部(女子)…関東大会出場	
45	1970	柔道部…学徒大会個人優勝	
46	1971	柔道・バスケット・テニス・陸上・卓球部 …関東大会へ	◎私の城下町

昭和47年	1972	バスケット部(女子)…学徒大会・新人戦優勝 サッカー部…関東大会優勝	沖縄復帰
48	1973	サッカー部、インターハイ全国優勝。	
50	1975	全日制第27回卒業式(男子150名・女子207名) 定時制第25回卒業式(男子18名・女子5名)	
51	1976	創立50周年記念、合宿棟落成式典	
54	1979	卓球部(女子)学徒大会・新人戦優勝。 柔道部…学徒大会優勝。	
55	1980	全日制第32回卒業式(男子164名・女子190名) 定時制第30回卒業式(男子7名・女子4名)	
58	1983	創立60周年、食堂落成記念祝賀会	
60	1985	柔道・卓球・スキー同好会…関東大会出場	
62	1987	全日制第39回卒業式(男子157名・女子194名) 定時制第37回卒業式(男子13名・女子2名)	
平成元年	1989	女子留学生来る。生徒定員全日制1,150名。	平成スタート
3	1991	全日制普通科の推薦入学試行を実施	
4	1992	体育館鉄骨造2階建を新築する。	
5	1993	同窓会館新築、70周年記念式典。	
7	1995	全日制第47回卒業式(男子171名・女子174名) 定時制第45回卒業式(男子13名・女子3名) 生徒定員全日制960名となる。	

本部役員と理事

先般の総会において、新役員の選任が承認されましたので、ご紹介いたします。

長い間、ご尽力をいただきました

前役員の皆様にごめまして御礼申し上げます。

会長 松本 一夫

副会長 根岸 義守

田島 勇八、瀬山 尚志

久保佐代子、沖村 良子

幹事 高木 清憲、立花 勲

高柳 和夫、川上 守之

石井 敏郎

監査役 萩原 泉、小島 満江

相談役 吉川 幸男、林 喜一

梅沢 仁

顧問 田島 敏包

各委員会の理事の紹介

《名簿作成・広報委員会》

会員名簿の作成 記念事業の計画

及び活動 事業に関する広報活動等

担当副会長

瀬山 尚志

委員長 浅見 透

副委員長

山崎 康雄

幹事 金井やよひ

倉林 栄市、伊藤 ふさ

木村 葉子、熊倉 清次

中林 都明、根岸 孝子

武内 順子、寺崎 一江

金井 保夫、木村 史雄

荒井 一夫、神岡 和年

鈴木 政弘、内山みつ江

落合 崇志、渋谷 正敏

奥原 好彦、飯野 晴美

小林 利幸



《育英・母校ルネッサンス委員会》

在学生の勉学 クラブ活動に対する援助 母校の活性化に協力するための活動

担当副会長

田島 勇八

委員長 岩上 高男

委員 岩片 満彦、新井 初枝

福島 慎治、石原 秀一

卜部 義子、堀越 久夫

沢本美喜男、長谷川志野夫

長谷川昌則、出牛 幸平

秋間喜代子、脊山 知教

石坂 清、阪本 和絵

石川 克彦、秋山 和広

角谷 清子、遠藤 武美

今泉 好美

《親睦・組織委員会》

各種会合 旅行会等 会員の親睦を深める活動及び会の円滑な運営のため組織の整備を行う

担当副会長

久保佐代子、沖村 良子



高女4回(昭和8年)

委員長

吉田 豊彦

委員 田島鎮智子、齊藤 定一

倉林 秀美、新井 茂守

小林 修、田村 昭子

峰岸 栄、小倉 正貴

黒沢 洋子、芳野 勇

安斉 彰、田島 優子

高木 弘之、岩丸 彰男

細田 明、田端とよ子

小林太美江

同窓会活動紹介

母校柔道部、野球部ほかのめざましい活躍によるこびを感じながら、十年度は四月二十五日の総会に始まりました。恒例の親睦旅行は新潟県柏崎方面となり、良寛の心にふれ、また魚のアメ横といわれる寺泊で豪快に昼食と、楽しい一日となりました。

新年会は一月三十日に埼玉グラン



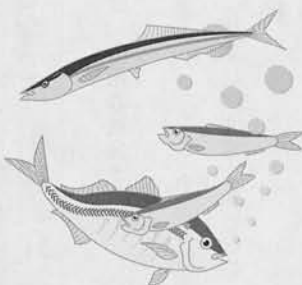
研修旅行

ドホテル本庄にて開催されました。来賓として校長、教頭のほか多勢ご出席いただき、なごやかな一日となりました。

十一年度は、五月八日に総会、一月七日は親睦旅行を趣を変え、横浜方面へののんびり旅行とし、楽しい一日をすごしました。

皆様のお手元へ会報が届くころは新年会も終え、十二年度の準備にとりかかっているところとなります。

ご協力をいただきながら、皆様の声を反映できる活動を展開していきたいと思っておりますので、ご支援をよろしく願います。



科学部

山崎 康雄

(昭和四十一年卒)

「青春の北帰行」真にそんな同窓会である。

あれから三十数年、今なお続くクラブ同窓会、科学部(現、生物・地学・化学部)だが、どういうわけか、昭和三十九年から四十二年卒業の四期間生だけの集まりでもある。

だから一番若い人と言っても、も

う五十才は過ぎてはいるはずである。

毎年、男女三十人程が集まり、近況を話し合い、親交を深め、何の蟻りもなく盃を交し、思い出を語り歌う、みんなあの頃のように、あの時に返って、そして夜十二時になると全員で肩を組んで歌う「高校三年生」これで同窓会の一年のおわりである。

思えば、三十数年前、私達が最も輝いていた青春と言う言葉がピツタリの頃に初めて出会い、クラブ活動、文化祭を通しての友情、夏休みに旅した、尾瀬・上高地のなつかしい思い出、みんな知り合ったあの頃、誰もがふと思いだす事のある遠い昔の事、それは故郷・友人・ほのかに憧れた人、今、振り返ればすばらしい時代でした。

そして、良く続いたものである。

あの山が消え、あの川の流れも消えた今、だいぶ、老人会みたいになって来たが、人間、年を取る事は、何も恥ずかしい事ではないので、この同窓会は今後もずっと続けて行きた

いと思う。

出来れば、一度クラブの全卒業生を対象の、「拡大同窓会」を計画したいものである。

発行協力金のお願い

会報発行の援助金として、六〇〇余名を超える方々よりご協力金を頂いております。皆様の応援をいただき、末長く会報が続きますようご協力をお願い致します。(発行協力金として二、〇〇〇円送金下さった方に、今後十年間会報をお送り致します。)

振込・連絡先

児玉高校内同窓会事務局

(誠におそれいますが現金書留等にて)

編集後記

二年ぶりの発行になりました、第十二号をお届けいたします。

前号で好評だった、「心に残る修学旅行」の続編を、今回も特集してみました。

今年度の児玉高校は、柔道部のインターハイ出場、野球部の新井君が、阪神タイガース・ドラフト指名そして入団するなど、注目されることが続きました。

三月になりますと、母校ではまた卒業式が行われることと思えます。いつもこの頃になるとふと、自分たちの卒業式の頃のこと、皆様も思い出されるのではないのでしょうか。

編集・発行

〒三六七一〇二一七

埼玉県児玉郡児玉町八幡山四一〇

埼玉県立児玉高等学校内

児玉高校雉岡会(同窓会)

電話〇四九五七二一一五九一



科学部OＢ会

